

# 事業計画書 ①

賃料等が30万円超の場合のご記入用紙です 2枚ともご記入ください

【 年 月 日作成】

お名前

## 1.創業の動機

会社名(屋号)		創業(予定)時期	
事業内容			
創業の目的・ 経緯・動機			

## 2.事業の経験

過去にご自分で事業を 経営していたことはあります か。	<input type="checkbox"/> 事業を経営していたことはない		
	<input type="checkbox"/> 事業を経営していたことがあり、現在も続けている(会社名: )		
	<input type="checkbox"/> 事業を経営していたことがあるが、既に辞めている(やめた時期: 年 月)		
職務略歴 (この事業の経験は ありますか)	年月	略歴・沿革	
取得されている資格	有( )・特になし		
代表者の お借入れ状況	お借入先名	お借入残高	年間返済額

## 3.取扱商品・サービス

※売上比率の合計は100%。

お取扱商品・ サービスを具体的に お書きください。		売上比率	%
		売上比率	%
		売上比率	%
		売上比率	%
		売上比率	%
セールスポイント、 特徴			

# 事業計画書 ②

賃料等が30万円超の場合のご記入用紙です 2枚ともご記入ください

【      年      月      日作成】

お名前 \_\_\_\_\_

## 4. 必要な資金と調達方法

(万円)

必要資金	金額	調達方法(相手)	金額
設備資金			
運転資金			
合計		合計	

※合計は同じ金額になります。

## 5. 事業の見通し(月)

(万円)

	創業当初	安定運営後 (      年      月頃)	根拠
売上高①			
売上原価②(仕入高)			
経費	人件費		
	家賃		
	支払利息		
	その他		
合計③			
利益(①-②-③)			

# 事業計画書 ①

賃料等が30万円超の場合のご記入用紙です 2枚ともご記入ください

**記入例**

【平成 ●●年 ●●月 ●●日作成】

お名前 ●●● ●●●

## 1.創業の動機

会社名(屋号)	●●●●	創業(予定)時期	2017年5月予定
事業内容	カフェ・アパレル小売・情報通信		
創業の目的・経緯・動機	例) 自身のお店を持つことが目標で今の勤務先に就職した。		
	例) 近隣に似たようなお店がなかったため。		
	例) 現在の営業活動で顧客が付いてきたので独立。		
	※何をするのか、なぜ創業するのか、これまでの経験など具体的に記入をお願いします。		

## 2.事業の経験

過去にご自分で事業を運営していたことはありますか。	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を運営していたことはない		
	<input type="checkbox"/> 事業を運営していたことがあり、現在も続けている(会社名: )		
	<input type="checkbox"/> 事業を運営していたことがあるが、既に辞めている(やめた時期: 年 月)		
職務略歴(この事業の経験はありますか)	年月	略歴・沿革	
	●年●月	居酒屋●●アルバイト	
	●年●月	株式会社●●正社員入社	
	●年●月	起業のため●●退職	
		現在に至る	
取得されている資格	有( ファッションビジネス能力検定3級 ) ・ 特になし		
代表者のお借入れ状況	お借入先名	お借入残高	年間返済額

## 3.取扱商品・サービス

※売上比率の合計は100%。

お取扱商品・サービスを具体的に書きください。	海外ビンテージ古着の輸入販売	売上比率	20 %
	節電設備の企業向け営業	売上比率	20 %
	スマートフォン販売	売上比率	10 %
	ランチ・カフェ営業	売上比率	20 %
	ディナー営業	売上比率	30 %
セールスポイント、特徴	例) 中国の家庭料理で人気のあるメニューを取り揃えています。		
	例) 気取らないワインを中心にジャンルにこだわらない料理を提供。		
	例) 独自のテレマーケティング手法により活動範囲を狭めずアプローチ。		
	※お店のコンセプトや他にない独自のサービス、提供するものなど、		
	どのような事業(店舗)なのか具体的に記入をお願いします。		

# 事業計画書②

賃料等が30万円超の場合のご記入用紙です 2枚ともご記入ください

**記入例**

【平成 年 月 日作成】

お名前

## 4.必要な資金と調達方法

(万円)

必要資金	金額	調達方法(相手)	金額	
設備資金	物件契約	200	日本政策金融公庫	1,000
	内装	100		(1,000万申込中)
	設備	200	自己資金	500
	什器	100		
	事務機器	50		
	備品	50		
運転資金 (例:3ヶ月)	仕入(50万×3ヶ月)	150		
	人件費(20万4名)×3ヶ月	240		
	広告(10万×3ヶ月)	30		
	家賃(20万×3ヶ月)	60		
合計	1,180	合計	1,500	

## 5.事業の見通し(月)

(万円)

	創業当初	安定運営後 (●●年●●月頃)	根拠	
売上高①	98	139	創業当初 売上高(月曜定休) 昼¥1,000×13人×26日 =33万	
売上原価②(仕入高)	29	41	カフェ¥500×15人×26日 =19万	
経費	人件費	15	夜¥2,000×9人×26日 =46万原価率30% 人件費1人15万	
	家賃	20	20	
	支払利息			安定運営後 売上高(月曜定休)昼 ¥1,000×15人×26日 =39万
	その他	10	10	カフェ¥500×17人×26日 =22万
	合計③	45	60	夜¥2,000×15人×26日= 78万
利益(①-②-③)	24	38	原価率30% 人件費15万×2=30万	